

# 顛末書

名 称	(仮称) 中野市美術館建設に係る市民説明会
日 時	令和8年1月19日(月) 19:00~20:30
会 場	中央公民館 3階 講堂
出席者等	<ul style="list-style-type: none"><li>・中野市長 湯本 隆英</li><li>・一般参加者 約160名</li><li>・総務部長、くらしと文化部長、教育次長、企画財政課長、文化スポーツ振興課長、文化振興係長、生涯学習課担当1名、文化振興係担当3名、</li><li>・設計業務委託業者 1名</li></ul>
次第	<ol style="list-style-type: none"><li>1 開 会</li><li>2 市長あいさつ</li><li>3 これまでの経過報告</li><li>4 説明事項・基本設計の概要について</li><li>5 質疑応答</li><li>6 閉 会</li></ol>
発言内容	別添のとおり

## 会 議 状 況



## 市民説明会 会議録

1. 開会（文化スポーツ振興課長）
2. 市長あいさつ
3. 経過報告（くらしと文化部長）
4. 基本設計の概要（基本設計委託業者）

資料：（仮称）中野市美術館建設工事 基本設計概要  
資料に基づき説明を行う。

### 5. 質疑応答（要旨）

はじめに、基本設計の概要に対してのご意見ご質問等をお受けし、全体の内容に関するものについては、このあとの時間に設けることをアナウンスする。

#### 参加者 1

本日の説明会の結果は、今後の事業遂行に拘束力が生じるか。

（市）

説明会で出していただいた意見の中で反映できるものは反映していきたい。

#### 参加者 1

美術館建設基本計画を市議会上程した根拠はなにか。

地方自治法 138 条の 4『普通地方公共団体にその執行機関として普通地方公共団体の長の外、法律の定めるところにより、委員会又は委員を置く。』とある。つまり行政委員会である。

この法律は、行政、市長が暴走するのをチェックする機構であり、今の中野市にとって最も大切な条例である。今回の事案を市議会に上程した根拠を話してほしい。

（市）

まず事業を進めるにあたり、予算が必要となるが、この予算は市長が議会に提案をし、議会が決定するものである。当然議会で否決されれば、事業自体はできないということであり、市長は事業を進めるため議会に説明し、設計の予算については議会でお認めいただいている。

#### 参加者 1

今の話だと行政委員会を全く通されていないことが伺えるがいかがか。

（市）

この美術館建設について審議会等々は、特に必要はないということでこれまでも説明をしてきている。

#### 参加者 1

地方自治法を無視して、予算案だけで、このような暴挙を私は許しません。いかがでしょうか。

（市）

様々なご意見あることは承知をしているが、市としてはこれまで通り説明をしながら進めていきたいと考えている。

#### 参加者の声

いくら反対派とはいえ、皆さんは市民の代表じゃないのだから、もう少しほかの皆さんにしゃべらせてくれてもいいじゃないか。おかしいのでは。

参加者 1

これまで市の事業、例えば市税の割合とか、あるいは国保の国保税の割合とか、医療費の上限の策定とか、すべて細かいことを今までは審議会にかけてそこで了解を得てやってきた。

これを全く無視してやるってことはあり得ないのではないか。

(市)

必要な場合には、審議会等へお諮りする場合もあるが、今回の件は通常の建設事業の進め方により進めさせていただいている。特別なやり方ではない。

参加者 1

ではなぜ市に審議会があるのか。それは行政の事業の全てに関して審議会を経なければ市の事業はできないということの意味しているのではないか。地方自治法でもそのようにうたっている。

(市)

まず審議会にはそれぞれ設立目的があり、必要な事項についてお諮りしているが、今回の美術館建設については審議会に諮る案件ではないため、そこも含めて皆さんによく説明し進めている。

参加者 1

国が必要であるといっているのにも関わらず、全くそれを無視している。

今回の事案に関しては、中野市美術品取得選定評価委員会、中野市文化財保護審議会、中野市立図書館協議会、中野市立博物館協議会のこれら四つもある。

そのうちの一つでしか審議をせずこの事案を挙げてくる暴挙はどういう理由か。

(市)

今、ご質問の中に審議会それぞれいくつか出てきましたが、図書館協議会に関しては、8月に開催された図書館協議会の中で計画案を示し説明してきている。

参加者 1

私もその図書館協議会の議事録を読んだ。その中でほとんど全員の委員が今回の図書館の中での建設に関して反対していたがどうか。

(市)

図書館協議会の中だけではなく、議会や様々な組織を通じて説明した中で進めているもので、そこでいただいた意見に対しては真摯に受け止め、反映できるところは反映するという説明をしている。

参加者 1

国には博物館法という法律があり、美術館には学芸員を置かなければならないと思うが、学芸員の話は出てこない。それでも美術館なのか。

中野市文化芸術振興条例が平成 20 年 3 月に施行しているが、第 5 条が全く反映されていないと感じている。

参加者 2

美術館については、各新聞にいろいろ書いてあった。それを踏まえてこの四つのコンセプトうま

くできている。あと、音声ガイドを聞きながら美術品の時代背景とか、解説を聞きより理解を深めるような、当然美術館であるから素晴らしいと思えるものができると思っている。コンセプトの「くつろぎ」「交流」「表現」のこの空間ができるのは非常にありがたい。日常の忙しさを忘れて、心身ともにリフレッシュするような美術館をつくっていただきたいと思っている。美術館というのは、地域振興や地域の発展につながる。近隣の自治体のまちづくりに良い事例もある。いずれにしても、私ども中野市の住民が納得するような素晴らしい美術館を作っていただきたい。

(市)

貴重な意見として受けさせていただく。

参加者 3

美術館の反対運動の実行委員会に入っており反対している。

もっと根本的な問題で、このプロセスに民主主義の危機を感じる。何も説明されず、気が付いたらオアシス公園に美術館が建つ。市政、政治、行政というのは市民に寄り添い、市民の意見を幅広く聞いて、それを吸い上げていくことではないか。なぜこんな美術館を建てる計画が持ち上がり、市民にほとんど何の説明もないまま議会がとおり、説明会もこんなギリギリになって行われるのか、なぜ市民に説明が足らないのか、なぜ市民の気持ちを無視するのか、署名にも市民の質問にも何に対しても無視をされてここまで来られたのか、そのことについて市長に説明を求める。

(市長)

議会の中でも何度も申し上げているが、策定過程から市民の皆様と共同で進めていく方法と、市の計画を策定してから公表するものと二通りある。

私は最初の市長選に出る時から美術館の建設については考えを取り上げている。そして、2期目の時には市民の交流の場としてミニ美術館の公約を掲げて、ミニ美術館構想“小さいけど多機能な交流の拠点”を設定ということで、これは4年やった後の5年目に既に盛り込んだ中で進めている。この点に関しては、例えば民間のある場所をぜひ市で買い取ってそこに美術館をつくりたいという問題ではなく、あくまでも市の市有地の中からどこが適当であるかということをも市のプロジェクトチームの中で選定してもらった。そう言った中でコンサルの皆さんが入り点数化されたものを更に検討し、それを議会にかけて議会からお認めいただいている。

よって、市民をないがしろにしているという風にとらえる方は中にいるが、逆にその点数の過程で23点であるここをと賛同されている方もいらっしゃるの、全てが同じパターンではないということをご理解いただきたい。

参加者 3

選挙公約など全く法的な拘束力はなく、単なる口約束である。選挙公約をなされたからこそ当選なされた暁には、それを市民に十分丁寧にわかりやすく説明する義務が市長にはあると思う。それをないがしろにしてここまで計画を進めたということはもう無法で民主主義の崩壊につながると私は危機感さえ覚えている。

(市長)

先ほど説明した通り公約というのは、わたくしと投票していただいた市民との約束である。

よって公約はただ書いてあればいいというのは、それは公約にならない。

そういう中でこの事業を進めているわけで、ちゃんと議会で皆さんに認めていただいている。議

会は市民の代表である。その中で説明しているのだから、それは市民の代表である議会の皆さんからこれを認めていただいているという事実について、二元代表者の中でお諮りした。

参加者 3

そのプロセスについても問題があると思っている。議会が認めたと言うが、議会よりも先に決まっているものが多々あるということも存じている。これについては、全く今の市長の答弁について納得のいくものではない。

参加者 4

仮称中野市美術館建設工事の“仮称”はなぜつけたのか。令和 8 年 4 月から工事が始まるのに“仮称”という名前はもう取ってもいいと思うが。

(市)

“仮称”については、まだ名称が決まっておらず、これから決めていくので今のところ（仮称）中野市美術館と言うふうに申している。

参加者 4

では美術館というふうに解釈してよいか。

(市)

美術館というご理解でよい。

参加者 4

展示室とカフェがあるが、美術品を管理するための除湿とか、防虫などの装置はあるのか。

(市)

美術館全体に温度湿度を一定の管理をして、全体を管理していきたいと考えている。

参加者 5

平面図で西側の角が削られているところと展示室等の境の壁に角ができていところがあるが、四角にはできないか。角を斜めにするという方法もできると思う。

(設計業務委託業者)

展示室の形状が一部少し欠けた形状になっているが、建物を成型にしてしまうと、近隣の敷地との境界線に接近してしまうため、施工上必要な空き、あるいは法的に必要なスペースを空ける関係で少し欠けた形状にしている。

意見については、設計の中で検討していきたい。また展示室の境の壁の部分については、現在設計の中で調整しているため、できるだけ使いやすい空間にしていきたいと思う。

参加者 5

今まで聞いた中では特別問題がないように思われるため、このまま美術館建設に邁進していただきたい。

参加者 6

資料は感心するほどいい資料だと思う。ひとつ言いたいことは、なぜオアシス公園にこの建物を建てなくちゃいけないのかという意見があちこちであること。

子どもを連れてくるお母さんたちは、オアシス公園は交通が多くなく、周りが住宅地で囲まれていて遊び道具がないから子供が自由に遊べる場所で一番いいという。美術館をつくるのであれば、なぜ一本木公園のバラ公園に持っていけないのか。

今日の資料はケチのつけようがない。強引に作ろうとしているから市民の反対、議員の反対があるのではないか。美術館つくるということに私は反対しません。小さな美術館じゃなくて、普通の美術館でいいから内容のあるものを作ってほしい。

今の車社会において駐車場のない設計なんてあり得ない。やはりここで踏みとどまり、できれば一本木公園・バラ公園に建設。そうすれば誰も反対しません。

(市)

場所の選定については様々な場所を検討した結果、点数化して市立図書館の隣ということで決めさせていただいた経過があり、回遊性等も含めて検討してきている。

駐車場については、今ある駐車場を増やすことは現在のところ考えてはいないが、イベント時などは近くの宅地を借用するなど、対策を考えたいうえで進めていきたい。

参加者 6

カフェとコンサートをやるスペースがあるが、コンサートはソソラホールや中央公民館、豊田文化センター、中山晋平記念館がある。私はこれは税金の無駄遣いだと思う。

(市)

様々な市の施設の場所でコンサートができるスペースがある。今回計画しているスペースについては常時コンサートを行うことは考えておらず、必要に応じ、そういった機会を設けたいと考えているためご理解をお願いしたい。

(市)

隣に年間中野市で一番お客様が来る図書館があり、そちらに子どもから大人まで来ていただいているが、図書館と一緒に一体化していただき、公園、美術館を盛り上げていくということを目的としている。

(市長)

足立美術館に10年ほど前に訪問をしている。

その他にも徳島の大塚国際美術館など時間があればいろいろな美術館に行かせていただいている。皆様ご存じだと思うが、例えば富山県に図書館と美術館が一体になっているガラス美術館がある。ということは実は美術館と図書館の相性は非常に良いということ。ある新聞で台湾台中に“台中緑美図”という新しい美術館ができたという記事があった。台中は約280万人であるから中野市の人口から比べると約70倍の場所である。記事では、美術と図書館はいわゆる人間の脳でいうと右の脳と左の脳の組み合わせであると。そのためこの組み合わせをすることによって今まで美術に関心なかった方、台湾の中でも美術に非常に関心がなかったお子さんまたは若者、女性の方も、お互いに美術と図書館の活動、それと感性知性を磨きながらパワーアップしていくという、今はこういう時代に来ているのではないかと、皆さんにご理解いただきたい。

今中野市の人口が約4万人を切ろうとしているわけで、今後2040年14年後には約3万4600人程度となる。これから人口がどんどん減っていく。今の図書館も建てて30年近いため老朽化も始まっていく。今このうちに何とか新しい方法で集客力の落ちている図書館に、今まで来られたことがない方にも来ていただくようにしながら、また美術館を作ることによってその相乗効果で中野市の文化芸術的なものに背骨を築いていくことが必要ではないかと思う。

1998年長野オリンピックの年から一本木公園でバラ祭りを始め、当時5000人くらいだったが毎

年集客数が伸び今の 1.7 ヘクタールの公園を仲間とともに 3.4 ヘクタールの公園に拡大させていた  
だいている。その期間中に一本木公園の中野小学校旧校舎の中で色々なイベント、または展示室  
で例えば土雛の絵付けをしたり展示をしたり久石譲の世界を行ったりあの中に何万人という人が  
来ているため、そこでなんとか美術的なものまたは音楽的なもので人を集客しようとしたことが  
あるが、やはり入りづらいということとは経験上思っている。

ただ、今回の場合では点数化される中で、図書館が一番いろんな意味で適地であると選ばせてい  
ただいた。

#### 参加者 7

市長にお聞きします。図書館の歴史、30 年経ってあの緑の森になったわけだが、地方紙などでも  
たくさん投稿されたがそれを全てお読みになったか。緑の森になるには、みんなの気持ちが一つ  
になった。あの場所に出来た時本当に良かったと思った。市長は地方紙の投稿を全てお読みにな  
ったか。それでもなお、あそこにつくろうとするのか、お聞きする。

#### (市長)

記事は全部読んでいる。

現場にも行かせていただいているが、桜の根がところどころ出ている小さなお子さんからお年寄  
り、車椅子の方もその部分では非常に危険であるという部分があった。直接現場に行って調べた  
りしている。

#### 参加者 8

今市長の美術館の思いを聞かせていただいて、私個人としてはこの話をもっと先に聞きたかった  
し、一緒に話し合いをしていたかと思っている。できれば本を借りる際にもうちょっと市民  
と交流されて「この公園どう思っていますか」とか地道に交流を図っていただきたかったとい  
うのが率直な思いであり、もう少し前々からコミュニケーションを図っていただきたかった。

#### 参加者 9

現在住んでいる近隣住民への配慮はどのように検討されていたのか質問したいと思う。また、計  
画段階から住民に説明や相談があれば、今のような大きな不信感が起きなかったと思うが全く知  
らされていなかったこと、それが今のようなことになっているのかなと感じている。それに対し  
てもどのようにお考えなのかお答えいただきたい。

#### (市)

ただいま貴重なご意見を頂戴したところである。これまでもご意見をいただいたうえで説明させ  
ていただいているが、今後も可能な限りで対応して参りたいと思っているので、引き続き今後と  
もお話させていただければと思っている。

#### 参加者 10

コンサルタント調査、客観的な評価分析だけではだめだと思う。そこに暮らす人たちの思いとい  
うのは一切入っていないというのが納得のいかないところである。

#### (市)

建設地の選定にあたってはまず市の所有地をあたり、それぞれ点数制で行い、一番適地というこ  
とで審査をした。地域住民の皆様のご意見等については今後もまた説明も丁寧にしていきたいと  
思う。

参加者 11

平面図の後ろの出来上がり図を見ると、カフェの方が見えるようなところがずいぶん真っ平になっている。この公園は軽く斜面になっており、この建物を作るときは土を削るということなのか。元の景観をずいぶん壊すような気がするが、設計をされる方は現場を見てどのように作ろうと思われたのか。

(設計業務委託業者)

こちらの敷地は何度も見させていただき、その中で測量もして高さの関係もすべてを図ったうえで今回設計させていただいた。建物周囲については基本的には大きな造成はできるだけないような高さ設定をさせていただいている。敷地の周囲はどうしても工事が必要な範囲があるが、公園全体を造成で荒らされることは決してないように計画していく。

参加者 11

この庭の所に大きな石があってベンチがある。その辺はこの基本設計で見ると残るようになっているが実際は作る段階でそれは残らないと思うし、軽く斜面になっている部分もこの建物等を合わせるとやはり削ると思う。ずいぶん公園の雰囲気が変わって子どもたちが遊べる雰囲気にならないと思う。

(市)

ベンチと石の関係ですが、それらについては移設をし、その場に残すということで考えている。土地については、整地はするが丘の部分については削ることはしないつもりである。